

医療法人が営業部設立 福寿会 数字管理でケア向上

東京都足立区・北区・葛飾区を中心に医療、高齢者施設を約50事業所展開する医療法人社団福寿会（東京都足立区）は、組織力向上と地域に法人の活動を周知するため昨年12月に営業統括部を立ち上げた。取り組みを深澤優子営業統括部長に聞いた。

法人案内一新で
地域に活動周知

—営業統括部が手掛ける業務内容は、
深澤 法人パンフレットのリニューアルをし

ました。従来のパンフレットは、法人が病院やクリニック、訪問看護事業所、高齢者施設などを多数展開していることは分かるのですが、それぞれがどのよ

うな活動をしているのか、また、法人の理念・方針が分かりにくいという意見がありました。新しいパンフレットでは、法人設立24年が経って改めてスタッフが方針を共有すること



深澤優子
営業統括部長

を目的にしています。

—新パンフレットで注力した点は。

深澤 法人の考えが伝わりやすいよう重要な内容のみを掲載しました。そのため、当初予定していた文章量を3分の1程度に抑えました。一方、ページ数は8ページから22ページに増やし、これ1冊があれば、どのスタッフでも法人の方針を説明できるようなっているほか、利用者の自宅に1冊置き、何気ない時に読んでもらえるよう工夫しています。

—そのほかの取り組み

▲新パンフレット（左）と旧パンフレット（右）



みは。深澤 数字管理の徹底です。具体的には施設稼働状況や問い合わせ件数、訪問回数などの営業量を「ドクタージョイ」というアプリを使用して、見える化

—数字管理をする上で注意することは。深澤 私は民間出身なので、徹底した数字管理は当たり前に思っていたのですが一般的に社会福祉法人や医療法人はそうではないケー

スが多いと感じています。数字によって「頑張りが見えるようになること」がスタッフに伝わるのが重要です。数字にこだわることにはネガティブなイメージを持ってはいけません。さらには、良い数字を出すためには良い

これにより、どこからどのような内容の問い合わせを受けているかが分かり、営業先の選定に繋がります。また、各施設で問い合わせを受けていても利用者獲得に繋がっていない割合も把握することができ、施設ごとに対策を練ることができるようになりました。

—数字管理をする上で注意することは。深澤 私は民間出身なので、徹底した数字管理は当たり前に思っていたのですが一般的に社会福祉法人や医療法人はそうではないケー

スが多いと感じています。数字によって「頑張りが見えるようになること」がスタッフに伝わるのが重要です。数字にこだわることにはネガティブなイメージを持ってはいけません。さらには、良い数字を出すためには良い

ケアを行う必要がある。なので最終的にケアの質を高めることに繋がります。数字にこだわることにはネガティブなイメージを持ってはいけません。さらには、良い数字を出すためには良い

高齢者を医・介現場へ 人材不足解消で提言 夜間准看学校整備を



▲提言を行う武久洋三会長

現実的ではない」とコメント。そこで一番現実的なのは「元気高齢者」に活躍してもらうことと述べた。

ケアを行う必要がある。なので最終的にケアの質を高めることに繋がります。数字にこだわることにはネガティブなイメージを持ってはいけません。さらには、良い数字を出すためには良い